

生態系サービス概念による 農業・農村政策のリフレーミング

—多様な関係者が「自分ごと」として捉える政策に向けて—

農業・農村の持続的な発展のためには、農業者ばかりでなく、地域住民や消費者の皆さんにも、農業・農村政策を「自分ごと」として捉えていただくこと（そして、政策の理解者、支持者になっていただくこと）が重要となっています。

他方、最近の農業・農村政策の動向をみると、気候変動、生物多様性の喪失等の課題に対する関心が高まるなか、本年5月には、農林水産省が「みどりの食料システム戦略」を公表するなど、持続性や環境の観点を重視する動きが顕在化しています。

こうした状況を好機として、多様な関係者の皆さんから農業・農村政策への理解・支持を得ていくために、「生態系サービス（農業生態系などから人間が得る便益）」の概念を取り入れることが有効です。本研究会では、最近の政策に関する検討事例も参照しながら、政府、地方自治体の政策を、「生態系サービス」の概念で捉え直し（リフレーミングし）、「自分ごと」化を図る可能性について一緒に考えていきます。

記

1.日時：2021年11月2日（火）16:00～18:00

2.場所：オンライン開催

3.次第

①部会長挨拶

②講演

「生態系サービス概念による農業・農村政策のリフレーミング」

神井弘之農林水産省前官房審議官（兼消費・安全局兼食料産業局）

16:05～17:20

③コメント 橋本禪東京大学准教授

17:20～17:30

④質疑応答と討議

17:30～18:00

⑤閉会

4.部会員登録

農業農村工学会 HP (研究部会→農業農村整備政策研究部会をクリック) で部会員登録した上、下記のアドレスにメールで研究会参加申込して下さい。

5.研究会参加申込&問合せ

オンライン開催のため事前に出席希望の方は10月26日までに下記にメールでご連絡ください。

Web 会議参加のための情報については、後程、メールで返送いたします。

Email : nagashima-yo@wakasuzuc.co.jp (担当幹事：永嶋善隆 03-3981-4136)